

# JR東海労ニュース

No. 924

2007年 3月 16日

JR東海労働組合

## ベア600円で1,400円の賃下げ！ 出た！新人事・賃金制度の欠陥

3月15日、自称「責任組合」とされているJR東海ユニオンが、ベア600円、夏季手当2.95ヵ月(2.7+0.25)で席上妥結した。JR東海ユニオン中央本部は、「回答を引き出した」「全組合員の苦労・強い想いに最大限応えるものである」と、会社を絶賛するコメントを発した。

今春闘は、新人事・賃金制度改悪後、初の闘争である。従来、定昇4号俸で約6,800円あった。しかし、新制度では、最高4,800円しかなく、ベア2,000円を確保してトントンだ。つまり、600円のベアで、1,400円の賃下げである。ベアゼロでも旧制度の方がよほどマシである。これが、新人事・賃金制度のからくりなのだ。

さらに、JR東海ユニオンなどの組合は、はベア要求方を「基準内賃金より〇〇円賃上げ」とし、会社もこれに応えている。600円と言えども、役付手当などの諸手当に反映されれば、基本給のベアはさらに低くなる。なぜかJR東海ユニオンは配分交渉の前から「純ベア600円」と打ち出した。まさに、会社とJR東海ユニオンはツーカーの仲。JR東海労は「基本給にベア3,000円」と要求した。雀の涙600円は、すべて基本給に配分されるべきだ。

JR東海ユニオンよ、組合員に詭弁は通用しないぞ！素直に、会社を批判すればいいではないか。こればかりは、御用組合のメンツにかけてできないであろう。

わずかなべアを絶賛する  
ユニオン幹部は労働者の敵だ！